

寺 報

真宗大谷派松寺永福寺

平成13年10月1日発行

第25号

発行所

富山市梅沢町3丁目1-6  
真宗大谷派 松寺永福寺  
電話 (076) 423-1848  
発行人 長 關 寿

# 松寺だより

## 罪の意識

煩惱の自覚が

罪の意識である

仏の光に出値って

はじめて煩惱に

頭が下がる

罪の意識のない者を

「畜生となす」と

仏陀は教えられる



<画>富山市大町南部 井上光恵さんの労作

# ご 案 内

## 真宗本廟(東本願寺)両堂 御修復瓦懇志ご進納

皆様のご協力をなにとぞよろしくお願い申し上げます

- お扱い ご進納されたお方のご芳名は、ご修復の記念として、永く記録され、留められます。
- 記念品 ご進納されたお方には、記念品が贈られます。
- お申込 当時(松寺)まで、お問い合わせください。

### 宗務当局からのメッセージ

## 真宗本廟両堂等御修復に向けて

真宗本廟は、親鸞聖人があきらかにされた、本願念仏の教えに出遇って人として生きる意味を見出し、同朋(とも)の交わりを開く根本道場として、聖人亡き後、今日にいたるまで、数限りない人びとによって相続されてきました。

現在の両堂は、1864(元治元)年の蛤御門(はまぐりもん)の変による焼失の後、明治期における先達の総力を集結して、1895(明治28)年に再建されたものです。しかし再建から百余年の歳月を経て、凍害などによる屋根瓦の破損はほぼ全体に及び、両堂等の木部には将来に憂いを残す破損が確認されています。

このたび、私たちは、先達の願いによって想像されてきたこの大切な両堂を、念仏の教えとともに後世に相続していくために、両堂等の御修復に着手することになりました。

なにとぞ、この願いに深いご理解を賜り、宗門の一大事業である両堂等の御修復に向けて皆様方の格別なるご懸念として、瓦懇志のご協力くださいますようお願い申し上げます。

# 謝 感 永代祠堂志

## 上納者ご芳名

(平成12年9月～13年8月)

|         |       |      |    |
|---------|-------|------|----|
| 一金貳拾万円也 | 苗加    | 犀川   | 光浩 |
| 一金貳拾万円也 | 苗加    | 犀川   | 行道 |
| 一金壹拾万円也 | 蛭川    | 近岡   | 佳彦 |
| 一金壹拾万円也 | 梅沢町   | 金田   | 正義 |
| 一金貳拾万円也 | 大阪    | 広島   | 和子 |
| 津沢      | 山本    | 善美   |    |
| 砺波市     | 石井    | 鹿代   |    |
| 南栗山     | 野村    | 則夫   |    |
| 東中野     | 近岡    | 貞子   |    |
| 五福      | 岩田真紀子 | 東真由美 |    |
| 下大久保    | 桃野重昭  | 小島勇  |    |
| (敬称略)   | 上納順)  |      |    |

### ご 案 内

十一月四・五日(日・月)両日共 午前十時 午後一時半

# 報 恩 講 謹 修

### 法 話

(四日)専徳寺住職  
(五日)大福寺住職

森島憲秀師  
太田浩史師

今年も聖人のご恩を偲び、ご恩の中に育っている私を明らかにさせて頂きましょう。どなた様もお誘い合わせの上、ご参詣下さいますよう、お待ちしております。

平成十三年 十月

## 伝承による

# 医王山と泰澄大師より

### 惣堂跡・正権寺跡・永福寺跡

香城寺より登る道を通称行者道と言うが、少し登って行くと香城寺の古宮跡があり、更に少し登ると惣堂跡がある。往時は修験堂の寺として栄えていたことが伺われ、寺域の東西には、それぞれ五基づつの三段石組の墓地がある。その一基を発掘調査したところ珠洲焼の大きな壺が出土し、中には人骨が沢山あった。

また、正権寺跡の北側前方に土塀があり、境内には一段高く盛られた所に本堂跡が見られ、後方には、墓地が見られる。

この寺の由緒は不明の点が多いが、医王山仏教に関するところが多い。永福寺跡も土塀が少し残っている。寺域は少なくなっている。墓は近年新築されてあるが、綽如や蓮如ゆかりの寺として、城端善徳寺と同じ頃に建てられたものである。

現在、富山市に移っている。

(以上の資料は、朝菜町の森田武夫様から頂戴いたしました)

# 最近の「松寺はがき通信」より

- 毎月、中学生の方がたを対象に差し上げています。
- あなたのお孫さん、子どもさん、そしてお友だちをご紹介ください。

## 松寺はがき通信

No,215

「相撲に敗者はいない。たとえ今日、負けても、それをバネにがんばればいい。互いに競い合い、がんばって、強くなっていく。そのことが大事。人生もいっしょね。」



人生に 敗者なし

初の外国人横綱として大活躍した曙太郎さんは礼儀も正しく、若い力士にどんどん胸を貸してましたから、本場所での若手に負けても、恩返しを受けたといって、うれしくなったといえます。だから、

## 松寺はがき通信

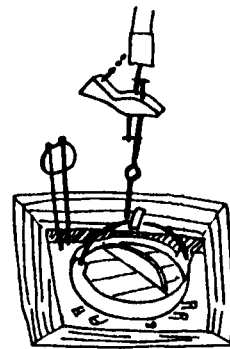
No,213

### 謹賀新年

新しい年、新しい世紀の幕開けです。ことしも、さきやかなお便りをお届けいたします。佳い年になりますように。

感謝できる素晴らしさ  
同じ五千元、同じ一万円でも、感謝していただく人あり、落胆してもらおう人あり。もらって当然という心に感謝はありえない。下さった人の心に感動したい。

さて、あなたはお年玉をどういただきましたか。



### あとがき

◆昨年に続く記録的な酷暑でした。地球温暖化が本格的に影響を及ぼしはじめたのでしょうか。新世紀に入って早々に、人類の重い課題が、突き付けられているようです。◆お茶の間タレントなみ超人気の小泉首相ですが、この夏、靖国神社参拝で話題を提供しました。国民の世論も様々で、日本民族らしい反応ぶりに、容易ならぬ危機感を感じたのは、私だけでしょうか。◆問題の根っこは憲法が定めた政教分離にあります。政治権力と宗教団体がお互いに利用しあつた結果、痛ましい事態が起こるといふ歴史の反省が、小泉首相にまったく見られません。というよりむしろ、そんなことは百も承知で参拝したというべきなのかも知れません。◆それほどまでに「戦没者に敬意と哀悼の念をささげ」たいのであれば、周囲を巻き込むことなく、夜中にも人知れずお参りすれば済む話だと思つたのですが…◆今まで紅白歌合戦が終わつた真夜中零時半から「修正会・元朝の初参り」を開催しておりましたが、二〇〇一年を期に「新年会」ということで、正月の三日午前十一時から催すことにいたしました。今年カラオケ新年会といったところで、まことに賑やかでした。◆「本堂でカラオケ？」と驚かれたお方、「これからのお寺はそうでなくっちゃ」というお方、さまざまでした。どうぞご参詣下さいませようお待ち申し上げます。 合掌